

## おわりに

結びになります。私は、人口減少社会の中にあっても、限られた資産を最大限に活用しながら住民ニーズに的確に応え、将来にわたり持続可能なまちづくりを実現していくためには、「スマートシュリンク」、つまり、“賢く縮む”という発想が不可欠だと常々考えております。

もはや「まちの規模」を追い求める時代ではありません。これからは、「まちのクオリティ」をいかに高めていくかが問われています。そうした視点に立ち、すべての市民の皆様へのウェルビーイングの向上を図ること、それが、私の描く新居浜の将来ビジョンであります。

これから私たちが直面する時代は、経済規模や利便性のみを追求するだけでは、将来の豊かさが保障されるものではありません。成長社会の中で培われてきた価値観を見つめ直し、時代にふさわしい新たな価値観へと転換していくことが求められています。

この一年、「まちづくりタウンミーティング」の全市開催をはじめ、各界各層の皆様と対話を重ねてまいりました。これらの機会は、地域の実情や課題を把握する大切な場であると同時に、様々な意見や意識を持つ方々と「価値観をすり合わせ、共有していく営みの場」でもありました。

まちが真に生まれ変わるためには、市民お一人おひとりが、人口減少という現実を単なる課題として捉えるのではなく、未来へと転換する契機として前向きに受け止め、このまちで暮らす価値を地域全体でどれだけ生み出しているかが重要となります。

「共に理解し、共に変わる」。そうした意識の広がりを、就任以来掲げております「対話とコミュニケーションに基づく市政運営」を通じ、継続して推進してまいります。

また、来年、本市は市制施行90周年という大きな節目の年を迎えます。それは過去を振り返ると同時に、その先の100周年を見据えた「土台作り」がスタートする年でもあります。

住んで、働き、子育てをして、笑顔で暮らせるまち、そんな確かな「日常」を提供し続け、新居浜だからこそ描ける、夢と希望が輝く「未来」を創造していくこと。それが、100周年に向けた私の目標であります。

市民の想いに私の想いを重ね、「新しい いはま」の実現に向け、本年も全力で駆け抜けてまいり所存でございますので、議員の皆様、市民の皆様におかれましては、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。